



## えんぴつが教えてくれる「折れない心」

12月4日(木)の学校朝会は学習発表会も控えているので、インフルエンザ感染予防対策として、ZOOMでの配信で行いました。本日は、いつもある身近なもの「えんぴつ」に焦点を当ててお話をしました。

鉛筆が私たちに教えてくれる「折れない心」のお話です。

- ① 鉛筆の真ん中には、黒くて硬い「芯(しん)」が通っています。この芯は、皆さんの「信念」や「目標」を表します。「これを頑張るぞ!」「こんな人になりたい!」という目標が、皆さんの心の中の芯です。この芯がなければ、鉛筆で文字は書けません。同じように、目標がなければ、私たちはまっすぐ進めません。寒さや、難しい問題にぶつかったときも、簡単に曲がったり、折れたりしない、強い意志を芯のように持つことが何よりも大切です。
- ② 芯の周りは、木で優しく包まれています。この木は、皆さんの「気くばり」や「思いやり」を表します。木が芯を包んで守ってくれているから、私たちは手を汚さずに、スムーズに文字を書けます。このように皆さんも、周りの友だちや先生、家族に優しく「気」を配りましょう。困っている人がいたら声をかける、みんなが気持ちよく過ごせるようにする。周りの人を温かく包む優しさがあると、クラス全体がもっともっと居心地の良い場所になるでしょう。
- ③ 鉛筆は、削られるたびに小さくなっていきます。これは、皆さんが「身を削って努力している」姿です。毎日の宿題、難しい漢字の練習、計算の練習。それは鉛筆が短くなるのと同じように大変で、すぐに結果が出ないかもしれません。しかし、鉛筆が短くなる代わりに皆さんのノートが知識で埋まるように、皆さんの頑張りは決してムダにはなりません。その努力は、必ず皆さんの頭と心の力となって残るのです。

この一本の鉛筆は、私たちに「芯(目標)」を持ち、「気(優しさ)」を配り、「身を削って(努力)」することの大切さを教えてくれました。一本一本の線が、皆さんの未来を作ります。「折れない心」と鉛筆の力を借りて、目標に向かって、最後まで取り組んでいきましょう!

## 明日はいよいよ校内発表会!そして、6日(土)は学習発表会!

インフルエンザ流行が心配されましたが、みんなの感染予防もあり、なんとか明日は「校内発表会」が開催されそうです。時折、練習風景を覗きましたが、子どもたちの一生懸命に表現する姿は、やはり動画ではなく実際の発表を見ていただきたいとつくづく思いました。

子どもたちの成長と輝きを6日(土)の学習発表会でも保護者の方々に「リアルで!」見ていただきたいと思っています。たくさんのお参観をお待ちしています。また、その後の懇談会の参加もよろしくお祈りします。保護者の方々とのお互いの貴重な情報交換の場として準備をしています。

この1本のエンピツで何ができるでしょうか?

